

石巻感染症情報



2025年感染症発生動向調査より 第8週 (2025年2月17日～2025年2月23日)
宮城県石巻保健所 疾病対策班 電話:0225-95-1430 発行日: 2025年2月27日

* 石巻保健所の感染症発生状況 *

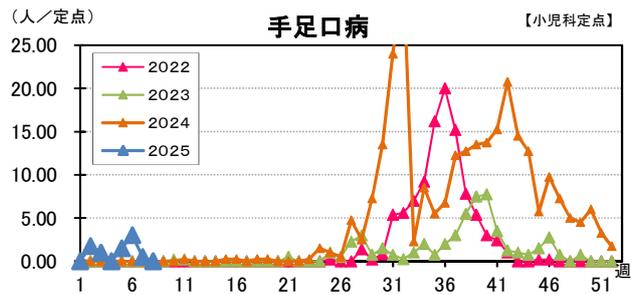
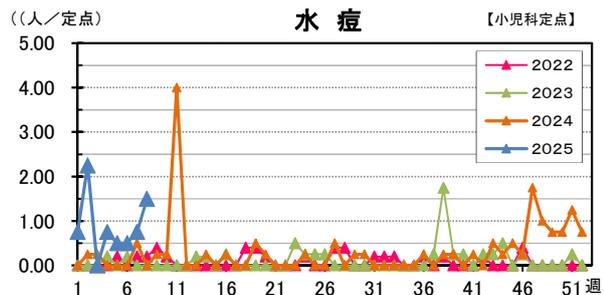
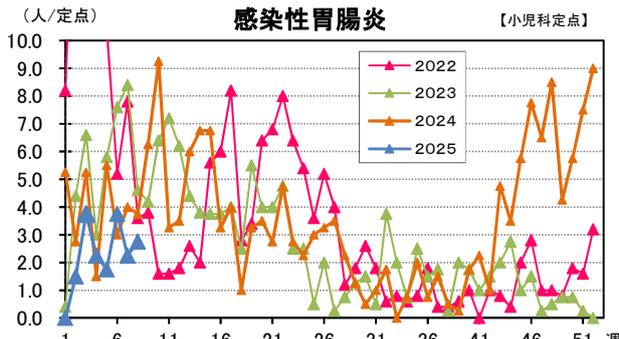
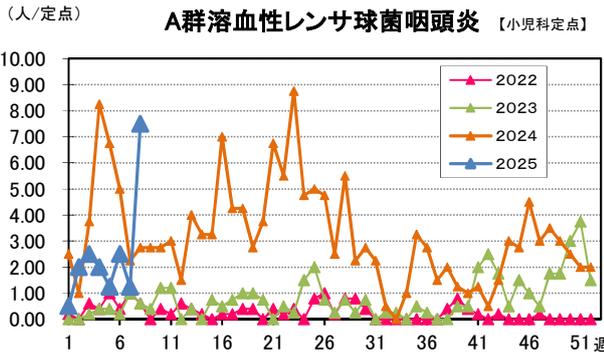
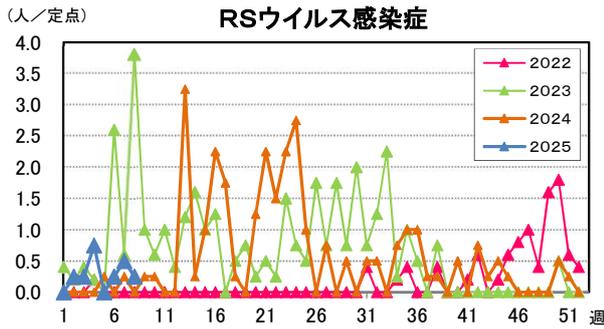
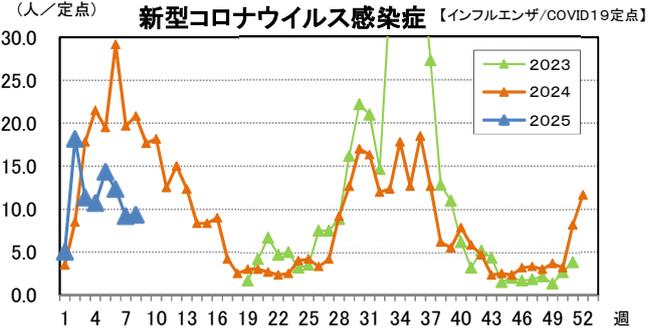
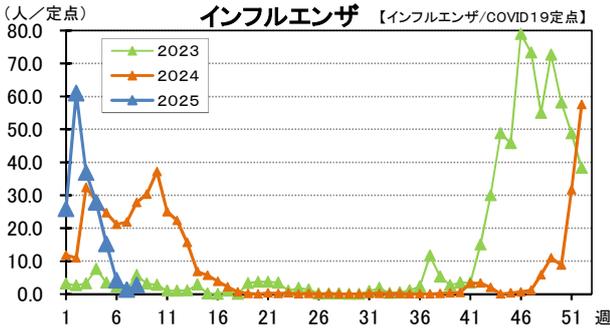
【全数報告疾患報告数】

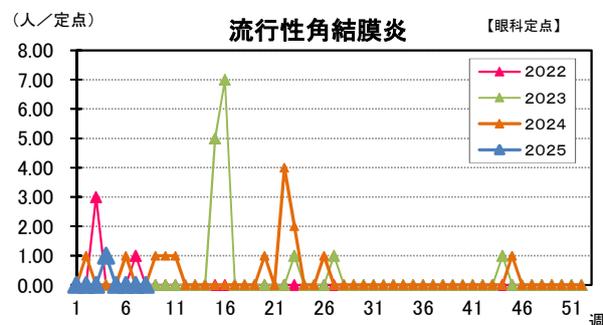
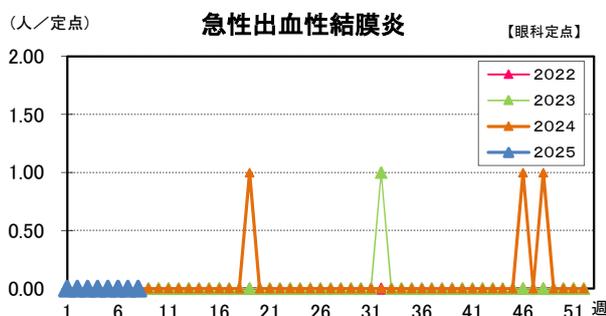
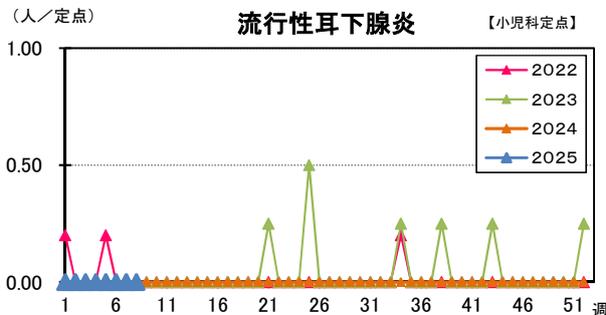
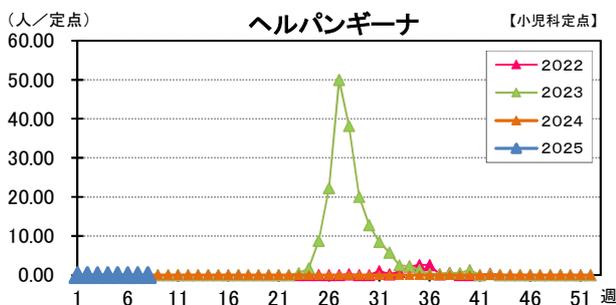
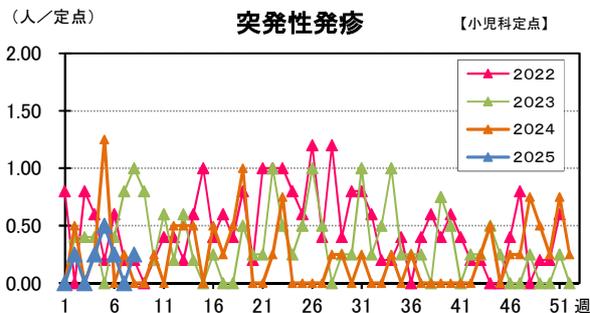
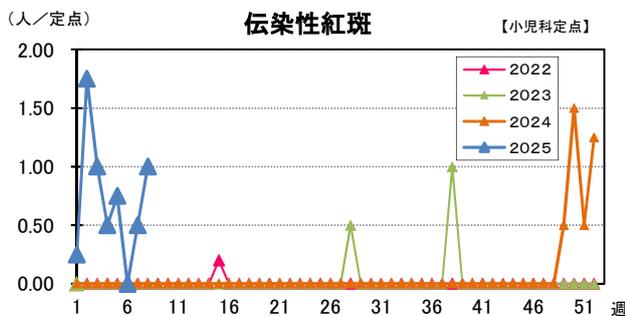
- ・1類感染症: 報告なし
- ・2類感染症: 報告なし
- ・3類感染症: 報告なし
- ・4類感染症: 報告なし
- ・5類感染症: 侵襲性肺炎球菌感染症(診断7週)
水痘(入院例)
- ・新型インフルエンザ等感染症: 報告なし

【警報・注意報・終息について】

注意報基準: 水痘

* 石巻保健所感染症サーベイランス * 直近4年分の管内1定点医療機関当たりの報告人数





* 今週の感染症トピックス

【保健環境センターからのコメント】

【新型コロナウイルス感染症】

患者報告数は4週続けて減少していますが、定点当たり5.40と多くの患者が報告されています。塩釜管内や大崎管内では医療機関において集団感染事例の発生があるなど感染が継続しています。引き続き注意しましょう。

【A群溶血性レンサ球菌咽頭炎】

仙南管内では警報開始基準値を超えるなど増加傾向にあります。この疾病は、高熱・咽頭炎・嘔吐等を主症状とする上気道感染症で、学童期の小児に患者が多く発生します。冬季及び春から初夏にかけて流行しますので、今後の動向を注視しましょう。

【石巻保健所からのコメント】

【A群溶血性レンサ球菌咽頭炎】

石巻管内では第8週に急増しており、県では、2月27日に警報を発表しました。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は、学童期の小児に最も多く、冬季及び春から初夏にかけて報告数が増加することが知られています。感染経路は飛沫感染と接触感染で、家庭や学校などの集団での感染も多くあります。

潜伏期間は2～5日で、発熱、咽頭痛、莓状の舌等の症状が見られます。熱は3日～5日以内に下がり、一週間以内に症状は改善します。

感染予防のためにも咳エチケットや手洗い、感染者がいる場合はタオルの共有を避けるなど基本的な感染対策を行いましょう。

また、県において、令和6年12月26日に警報を発表していたインフルエンザについて、1定点医療機関当たりの患者報告数が警報継続基準値である10人を下回ったことなどから、2月20日に警報は解除されました。

宮城県(全域)、全国の発生動向につきましては、下記のホームページで御覧になれます。

宮城県⇒宮城県結核・感染症情報センター <https://www.pref.miyagi.jp/site/hokans/kansen-center.html>

全国⇒厚生労働省/国立感染症研究所感染症情報センター <https://www.niid.go.jp/niid/ja/from-idsc.html>

